

多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

お名前

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしくお願ひします。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

評価できないところ

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の(1)(2)にお答えください。

(1)「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。	②反対である。	③何ともいえない。
理由		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。	②評価しない。	③何ともいえない。
理由		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点
活かされていないと思う点